

全国に広がる安心のサービス網

建設機械の役割は、フル稼働して作業を迅速に効率よく推進すること。建設機械のトラブルは、作業の遅れの要因となり、工事スケジュールを大幅にくるわせることにもなります。日車では、いつも最良の状態稼働させていただくために、全国にきめ細かなサービス拠点を確立。これらの拠点から、建設機械を見守っています。

迅速サービス・親切サービス

万が一のトラブルには、係員がさっそくおつかいいたします。いつ、どんなところからでもご一報ください。建設機械を熟知したサービス部員が、異常個所の修理はもちろん、各種の点検整備を念入りにスピーディに行ないます。

移動式クレーン

運転実技講習

所定の講習を修了し、修了試験に合格されると、移動式クレーン運転士免許試験の実技試験が免除されます。お気軽にお問い合わせください。

愛知労働基準局指定教育機関
日本車輛製造技術講習所
TEL(0569)22-7549

地区サービスセンター

- | | | |
|----------------------|-----------------------|-----------------------|
| ●札幌 TEL(011)881-2021 | ●千葉 TEL(0474)48-3213 | ●広島 TEL(082)221-9657 |
| ●青森 TEL(0177)73-5604 | ●名古屋 TEL(052)612-2635 | ●高知 TEL(0888)84-0350 |
| ●仙台 TEL(022)295-9211 | ●金沢 TEL(0162)23-0827 | ●福岡 TEL(092)503-9161 |
| ●新潟 TEL(0252)41-5535 | ●大阪 TEL(0726)49-3481 | ●鹿児島 TEL(0992)55-7491 |
| ●東京 TEL(0425)54-1611 | ●岡山 TEL(0862)32-9717 | |

にも ゆう **日熊工機株式会社**
建設機械部

- | | | | |
|--------|-----------------------------|---------|-----------------|
| 本社 | 名古屋市中央区栄3-2-7 丸善ビル5階 | 〒460 | 電話(052)261-1431 |
| 営業本部 | 名古屋市中央区栄3-2-7 丸善ビル5階 | 〒460 | 電話(052)261-8356 |
| 東京営業所 | 東京都中央区八丁堀1-11-5 奥山ビル5階 | 〒104 | 電話(03)552-9506 |
| 名古屋営業所 | 名古屋市南区北塚町1-3-6 | 〒457 | 電話(052)612-3511 |
| 大阪営業所 | 大阪市北区芝田2-6-23 全日空ビル5階 | 〒530 | 電話(06)372-3251 |
| 札幌営業所 | 札幌市豊平区里塚2-7-8 | 〒061-01 | 電話(011)881-2021 |
| 仙台営業所 | 仙台市小田原2-1-31 2階 青葉商工ビル3階 | 〒983 | 電話(022)295-3911 |
| 福岡営業所 | 福岡県大野城市海苔川5-5-16 | 〒816 | 電話(092)503-7581 |
| 広島営業所 | 広島市中区基町13-7 広島朝日ビル6階 | 〒730 | 電話(082)221-9672 |
| 新潟出張所 | 新潟市鏡1-1-7 田辺ビル203号 | 〒950 | 電話(0252)46-1231 |
| 金沢出張所 | 金沢市本町1-2-5-6 坂口ビル | 〒920 | 電話(0762)63-0138 |
| 青森出張所 | 青森市吉川1丁目21-8 第2 階 藤ビル2階 | 〒030 | 電話(0177)75-2347 |
| 鹿児島出張所 | 鹿児島市宇宿一丁目36番25号 コーポセントライズ1階 | 〒892 | 電話(0992)51-2697 |

発売元 **日本車輛製造株式会社**
機電本部

本部/機電製作所 名古屋市緑区瑞穂町字柳長8-0 電話(052)623-3311 機電本部
建設機械部 電話(052)623-3312

●本カタログの仕様は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。
●本機の取扱いに関しては、取扱説明書の注意事項を必ずお守りください。

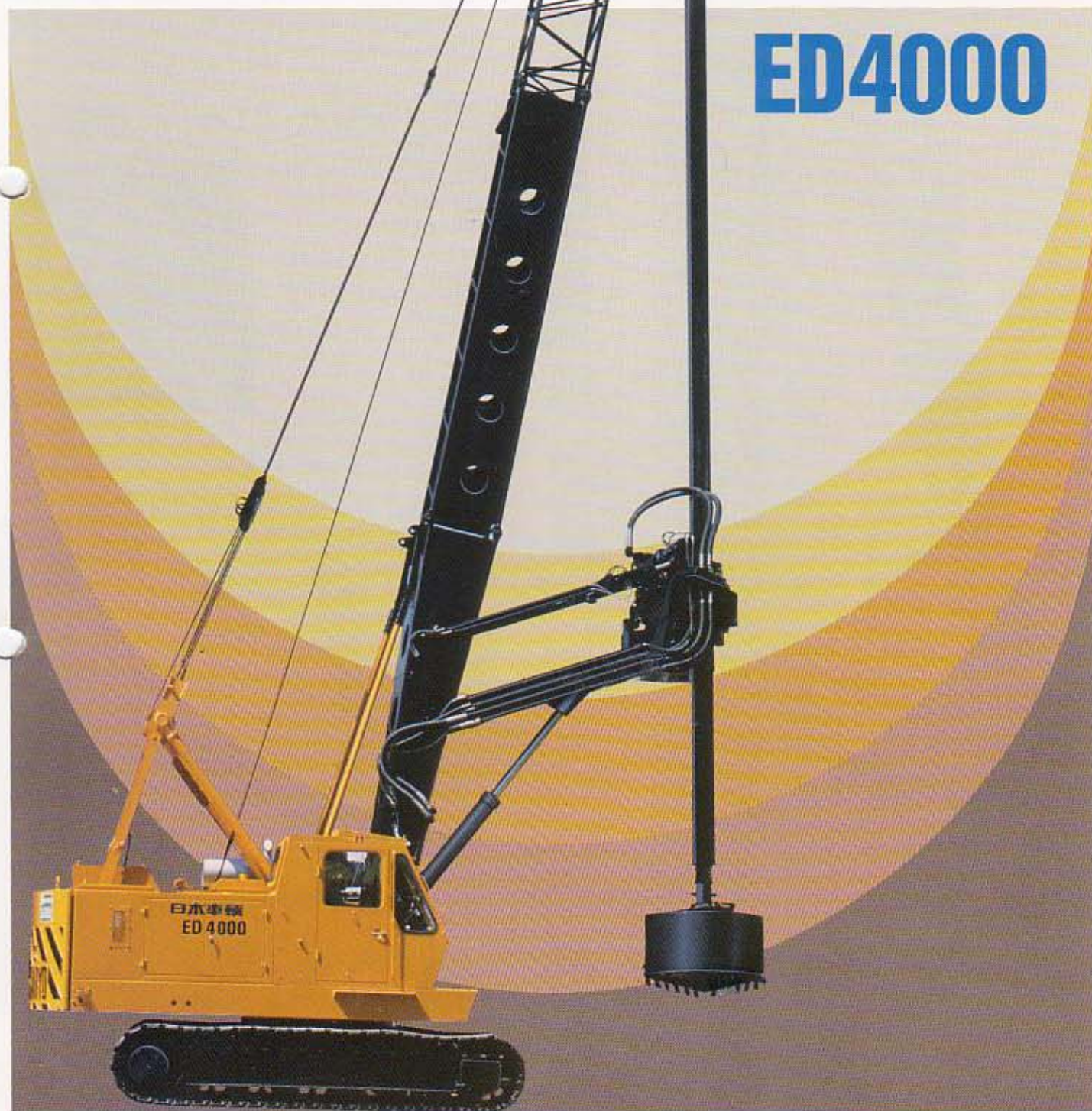
お取扱店



日車アースドリル専用機

アースボーイ

ED4000



Hydro
H17.10.16
Crane

日本車輛

技術を極めれば、アースボーイ。

小型ながら静かでハイパワー。プロならば知るほどに使いたくなる、アースドリル専用機。

1 最大掘削深度53m。

12.4m四段角型ケリーバの採用により10mステムロッド使用時最大掘削深度53mを可能にし、ステムロッドを用いない場合でも43m掘削可能。

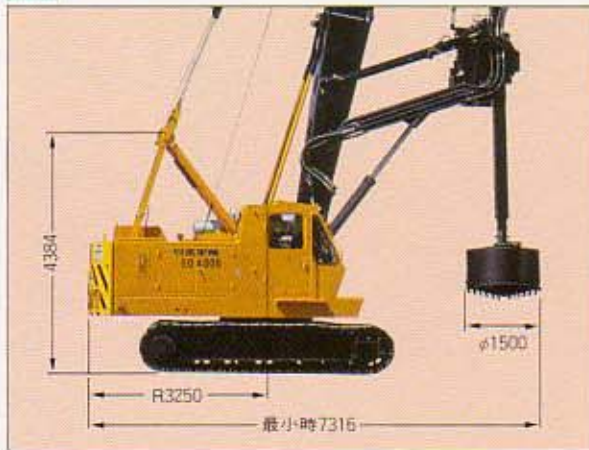
2 新型フロントフレーム採用。

起伏機構に大型油圧シリンダーを採用し、フロントフレーム、ブーム、シリンダーの一体化をはかり掘削穴の鉛直精度の向上及び、より大きな掘削反力を確保。



3 コンパクト設計。

掘削能力に反し、後端半径3250mm、ガントリー高さ4384mmという小型化を実現。

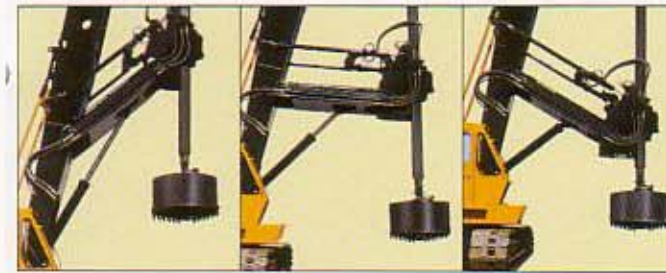


4 φ22.4mmケリーロープを新採用。

従来より一回り大きいφ22.4mmケリーロープを採用し、ロープ寿命を大巾にアップ。(ロープ寿命は当社計算値比較40%アップ)

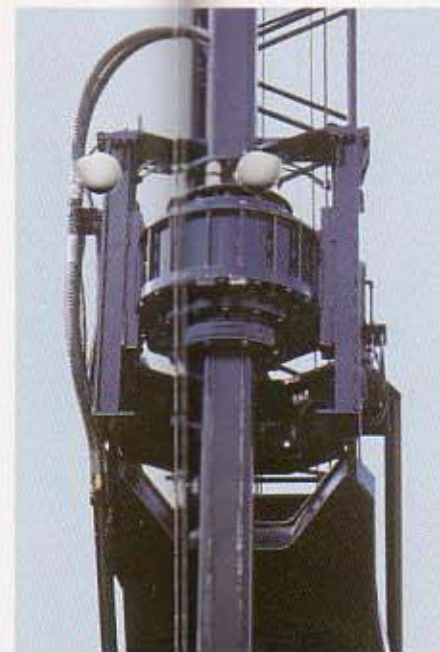
5 任意調整可能な作業半径。

フロントフレームの上下調整、減速機の前後調整、ブーム角度調整により、最小作業半径3316mmから全周ダンプ排土に必要な作業半径4700mmまで可能。



6 ハイパワーエンジン搭載。

このクラスでは考えられない高出力155PSエンジンを搭載し、高負荷時の作業能率を向上。



7 バケット回転トルク 5.2ton f·m。

正転時4.4ton f·m、逆転時5.2ton f·mの高掘削トルクを発揮。

8 大型ブレーキ採用。

φ22.4mmケリーロープに対応可能なフィン付大型ドラムを採用。ブレーキも併せて大型化。(当社65tonクレーン相当)



9 パワフルなウインチ。

ケリーバ巻上力及び補巻ウインチ力は、パワフルな13.5ton。

10 500mmのスラストストローク。

スラストストロークは500mmと長く、施工上非常に便利。

11 微速コントロール装備。

杭芯の位置決め、及びインテック操作に有効な微速コントロール(作業速度100%~17%まで任意可変)を標準装備。

12 電気油圧式旋回ロック。

電気油圧式旋回ロックの採用により掘削穴の旋回位置決めがスイッチで可能。



13 足まわりのトラブル解消。



走行モーター、減速機をシュー幅内にコンパクトに納め移動時、障害物等による損傷を解消。

14 補助吊り能力5ton。

小型機ながら従来のアースドリル機と同等の、補助吊り能力5tonを確保。

